

## 第 1 回アセットオーナー・プリンシプルに関する作業部会の開催

3月7日(木)に第1回アセットオーナー・プリンシプルに関する作業部会が開催されました。

2023年12月13日に資産運用立国分科会で取りまとめた「資産運用立国実現プラン」において、「アセットオーナーがそれぞれの運用目的・目標を達成し、受益者等に適切な運用の成果をもたらす等の責任を果たす観点から、アセットオーナーに共通して求められる役割があると考えられ」、「アセットオーナーの運用・ガバナンス・リスク管理に係る共通の原則(アセットオーナー・プリンシプル)を2024年夏目途に策定する」とされていました。

この作業部会は、アセットオーナー・プリンシプルについて実務レベルの検討を行うため、資産運用立国分科会の下で開催されるものです。

以下では、当日の資料における論点等をまとめてご案内いたします。

なお、内閣官房のホームページに資料が掲載されていますので、以下のリンク先にてご確認ください。  
(当日の議事要旨についてはまだ公開されておりません(3/12 時点))

### ○内閣官房

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii\\_sihonsyugi/bunkakai/asset\\_dai1/index.html](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/bunkakai/asset_dai1/index.html)

また、「資産運用立国実現プラン」公表時の年金通信は、以下のリンク先にてご確認ください。

### 【ご参考】

資産運用立国分科会(第4回)の開催および「資産運用立国実現プラン」の公表

<https://nenkintsushin.dai-ichi-life.co.jp/download.php?c=1813>

## (1) 作業部会の構成員

担当		担当者
部会長		神作 裕之（学習院大学大学院法務研究科教授）
構成員	有識者	上田 亮子（京都大学経営管理大学院客員教授）
		菅野 暁（東京大学執行役(CFO)）
		玉木 伸介（大妻女子大学短期大学部教授）
		野村 亜紀子（野村資本市場研究所研究部長）
	関係行政機関	内閣官房新しい資本主義実現本部事務局長代理
		内閣官房新しい資本主義実現本部事務局次長
		金融庁総合政策局審議官（監督局担当）
		金融庁総合政策局参事官（企画市場局担当）
		総務省自治行政局公務員部福利課長
		財務省主計局給与共済課長
		文部科学省大臣官房審議官（研究振興局及び高等教育政策連携担当）
		文部科学省大臣官房文部科学戦略官
		文部科学省高等教育局私学部私学行政課私学共済室長
		厚生労働省大臣官房審議官（社会、援護、地域共生・自殺対策、人道調査、福祉連携、年金担当）
		厚生労働省雇用環境・均等局勤労者生活課長
		中小企業庁事業環境部経営安定対策室長

## (2) 主な論点

資料4にて、「本日の主な論点」として、以下の通り示されている。

【資料4抜粋（赤字・下線の箇所は当社にてハイライト。また、読み仮名は当社による。）】

アセットオーナーがそれぞれの運用目的・目標を達成し、受益者等に適切に運用の成果をもたらす等の責任を果たす観点から、アセットオーナーに共通する原則を検討するにあたり、以下の点をどのように考えるか

## 1. 形式について

- ① 対象とすべきアセットオーナーを個別に列挙する形（公的年金、共済組合、企業年金、保険会社、大学ファンドなど）が良いか、あるいは、広くアセットオーナー全般を念頭に策定し、個々のアセットオーナーが受け入れるか否かを判断できるような形が良いか。
- ② 対象となるアセットオーナーに原則の全ての項目が適用される形が良いか、あるいは、アセットオーナーは様々であることを踏まえ、対象となるアセットオーナーが個別事情に照らして項目毎に採否を選択できる「コンプライ・オア・エクスプレイン」の形が良いか。

## 2. 内容について

- ① 運用目標や運用方針の設定に関する事項
  - ② 資産運用力の向上に関わる事項（人材育成等の態勢整備、運用委託先の選定等） ※
  - ③ 関係者のための 見える化に関わる事項 ※
  - ④ 投資先企業への積極的な働きかけに関する事項
  - ⑤ その他（例えば、本日の生命保険会社に関する説明を踏まえて考えられる、他のアセットオーナーにも敷衍（ふえん）すべき課題など）
- <※は、資産運用立国実現プランの中で、企業年金の改革に記載された項目に関連するもの>

### （3）当日の議論

議論の内容について、現時点では公表されていない。

以上